



日本

●郷里送金相場 横濱正金銀行  
リオ支店十二月六日郷里送金相場日本金一圓に付き三ミル九百二十レイス

Y. Kinjô  
Cirurgião Dentista  
Rua Vergueiro, 3384  
Tel. Avenida, 3384  
São Paulo

歯科醫

皆様方の便宜上今度「シンガーミシン」取次販賣開始致しましたから御用命の程お願ひします尙四臺以上御購入のお方は特價にて差上げます  
聖市コンデ街四三番(常盤ホテルの隣り)  
呼出電話六一七三

Confeitaria HIRATA  
O mais proximo da estação.  
Est. Birigui—L. Noroeste

中村旅館  
ノロエステ線ブロミソン町  
中 村 忠 吉  
清潔町寧親切を旨として  
御便宜を計ります

富士山醸造元



一度御家庭に  
お試し下さい

十二日發東京電報に據れば千九百二十八年ホノル、市に開催される可き太平洋新聞會議は都合に依り千九百二十九年に延期したと

支那

戦闘地圖としての廣東方面は一層重大化し各地では戰闘開かれ住民は汽車船を利用し危險地を立去りつゝあり、同地方一帯は目下無警察状態だ。

米國

ワシントン十四日發電に據れば海軍省は製經費として十億弗の支出を議會に提出した、新製艦別次の通り

飛行母艦

砲逐艦

巡洋艦

駆逐艦

潜水艇

軍艦

軍械

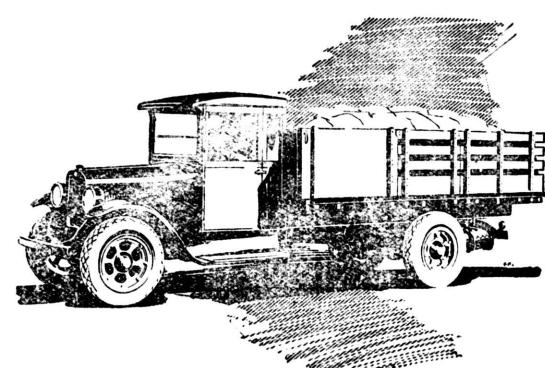
軍需



各  
位

峰松春

**CAMINHÓES**  
**GRAHAM BROTHERS**



一臺れ備を乞ふ

このカミニオンは耐久力の強い材料を使ってありますので

家の御使用車として最も適し

Chassis	BD型	一 頭 積	12,800\$000
"	MDX型	一頭半積	16,500\$000
"	OD型	二 頭 積	19,250\$000

**ANTUNES DOS SANTOS & CIA.**

Rua Barão de Itapetininga, No. 39-41  
**São Paulo**

Sao Paulo

# **PHARMACIA JAPONEZ**

OTTA E KAKAZU Comp.

Avenida 21 de Abril, 22 (Frente de Jardim) Telephone, 10 Caixa Postal, 59  
Estação Lins Linha Noroeste E. de S. Paulo

謹啓各位益々御多幸之段奉賀候  
陳者私共今回共同にて當市老舗ファルマシア  
ガルセースを譲り受け内容を充實更新して各  
位の御用命に應じ奉仕的に衛生の使命に添ふ  
べく大勉強にて營業仕り候に就き何卒御愛顧  
の程願上奉り候 敬具

マシヤ  
ホース  
久 次 郎  
輝 俊  
田 久 次  
賀 太  
ノロエステ線リンス驛  
甘二・デアブリル街三三  
(公園前角)  
十番、郵局  
五九

生者  
るけ  
の惱  
み  
(14)

生ける者の惱み(14)  
カローラの転る音に目覺めた  
時は、太陽の赤い光線が窓より  
美しく流れ込んで居た。一枚の  
毛布にくるまつて居た慎一は、  
昂奮した思惑が今朝になると、  
なんだか馬鹿／＼しく思はれる  
其の良心に、言ひ知れぬ淋しい  
悲哀がこみあげて來た。そして、  
マデレンとの情熱的シキンが、  
ボンヤリした夢のやうな記憶に  
しか残つてゐなかつた。トモ・  
ルが馬鹿／＼に馬車に乗つた時、なんだか自分  
一人が罪人のやうな駄々の感  
情におそはれて、胸の動悸の高  
鳴りをおぼへた。  
約束したネグロは未だ姿をみせ  
ない。慎一は自りでマーラを下  
げたまゝ、黙々として平原のカ  
ミニョを歩ゆんに行つた。凡  
そ二キロも來たと思ふ頃、後ろ  
より二四の驅馬に曳かれ、がた  
くり走つて來た一臺のホロ馬車  
が有つた。前の駕車臺には、黒  
と白の元録の上衣を着た、六十  
位の爺さんが鞭を動かしてゐ  
る。慎一の側を通り過ぎようとする  
時、彼に慎一は言葉をかけた。  
『おい、ポンジイヤー。この  
馬車は止まつた。珍らしそうに  
慎一を上から下まで見廻はして  
から……』  
カツボンナトラールにいねるん  
じあが、おめいはんも行くつち  
ゆうのかね。老人の言葉はスベ  
イン語とボ語との中和した、最  
も下等な方言訛りで、慎一には  
殆ど判らなかつた。でも彼の態  
度や素振で判断した。  
『シン!!……僕も訪ねる者が  
あつて其處迄行くんだが乗せち  
あくれないかね……』  
『ノン!!……此の馬車あ急ぎだ  
で……又後から来るんじあが  
そいつがよかんへいや。……カ

# ◆生徒募集◆

もとより靈肉から成る人間は物質的教育のみではどうしても完全なものとは云はれません、學識にかけては最高學府の教授に足る程の才智を持ちながち、道徳の方面からは殆んど眞人間として取扱ふ事の出来ないものゝ世に多い事は、吾人のよく目撃する所であります。學問も道徳も藝術も宗教信仰を根底にしてこそ、始めてそこに生命づけられ意義あるものとなつて光を添へるものであります。然しこれは云ふ迄もなく精神的教育の面で最も問題となる事であります。然し一概に宗教云つても數多い中には、随分非文明的な時代錯誤的のものもある。有史以來常に世の光りとなつて學問道徳界を指導誘掖し來つたカトリック教の真価は、皆さんも已に御承知の通りです。カトリック的教育の庭に子弟の優雅な情操燃ゆる様な智識慾向上心の花を咲かせよう云ふのが、實に本園の特長なのであります。

大和民族の將來を一手に背負つて立つ次代の子弟を如何に教育すべきかの問題に痛く頭を悩まして居られる同胞父兄等は、必ずや本園の主義理想に共鳴賛同せられ、競つて其大切な子弟を本園に送られん事を期待して止みません。

## 注意事項

- 一、本園に於ては主として上級學校への豫備教育に力を注ぎ入學に際し種々の特典を有す。
- 二、注入語科(日本語科(但し補助教育として)を併置き、日伯人兩正教員各々之を擔當す)。
- 三、入園年齢は八才以上。
- 四、單純なる葡語のみの智識を得たとする青少年の爲め別に純然たる葡語科を置く。
- 五、父兄の負担は月一百銁(衣服、書籍、醫藥代等は元より)
- 六、入園期日は年中差支へなしと雖も二月及び七月を便利とす。但し葡語研究志望者は此の限りにあらず。
- 七、申込所は直接本園主住宛又は便宜上ブラザ・ジョン・メンデス・サン・ゴンサロ教會宛にても差支へなし。
- 八、開校は二月一日より。

聖市リベルダーデ街一四九番

聖フランシスコシヤヴィエル學園

總顧問裁  
主任  
青木  
新  
ミゲル・クルセ閣下  
ギードルト一口師

## 注意事项

# ◆生徒募集◆





大石内藏之助

# 大石内蔵之助 牛井桃水

第二三百五十一回

小鹽源四郎は、左兵衛の近習で、剛力無雙と聞えた勇士。近

松勘六に渡り合つて、左手の指を斬り落した。夫と見て吉田澤

右衛門入代り、右手の手を一刀斬る。源四郎は少しも屈せず、左

の手に刀持かへ、おめき叫んで立向ふ時、奥田孫太夫・大太刀を

ぶりかぶり、肩に一刀浴せ掛けば、さすがに敵し難いと見たか

源四郎は逃出した。勘六追ふて行く中に、忽ち石に蹴駆き、薄

氷のはづて居る、池へさんぶと陥れば、源四郎取つて返し、二

刀程軽付けたが、兜頭巾の筋金に留り、幸ひ少しの疵も受けず

其の中三村次郎・左衛門、杉野十平次駆付け、源四郎を推隔て

素早く勘六を引上げた。

暁の風はさらぬ間に肌を劈

ざく、況んや雪水の流れ入る泉

水に陥つて、すぶ濡れとなつた

勘六、凍死したかと思ひの足岸邊に達するや否や、飛鳥の如く追縋つて、源四郎が首打落とした。

次には須藤與一・右衛門、荒刀をもつて上野介の居間の中から現はれたのを、吉田澤右衛門、岡島八十右衛門遙り留めて、何の苦もなく討取つた。

堺部彌十郎・衛金丸は、原惣右衛門、間瀬久太夫、村松喜兵衛との間に、間瀬久太夫、村松喜兵衛の傍に居て、部将の任に當つたが、若者どもの動

きを見つては、血湧き腕鳴る思ひして、其處此處と彷徨内、小堺源次が抜刀引提げて逃げ来るのを、唯一突きに伏した。村松三

太夫是を見て、御老體でありながら、天晴の御手練驚き入つて御座ります、唯た今拙者が父も、敵二人を刺止めました。

「御老體でありながら、天晴の御手練驚き入つて御座ります、唯た今拙者が父も、敵二人を刺止めました。」

「びいびちやん、剃刀で鉛筆を結婚一年目。」

「また者で御座ります、切望お助け下されませう。」

「びいびちやんもびいびちやんの結婚五年目。」

「あなたが結婚記念日ぢやありませんか？」

「あ、さうだつたね。いや、どうりや何うも——ところで、お前の記念日が來たら教へてお呉れませう。」

「いけませんねえお爺さん、でよ。贈物をするからね。」

「結婚五十年。」

「お爺さんや、わたしやこの頃眼が悪くてね困りますよ。はい。」

「いいまえせんねえお爺さん、でよ。眼のお醫者へ行つて診て貰ひませう。けれど、小さな字や印しを見せて検査しますよ。あ

手が欲しいものぢや」と彌兵衛

は尚も深入りしさうに見えた。

間瀬久太夫呼留めて、彌兵衛殿、大石殿がお呼びな

立向ふ時、奥田孫太夫・大太刀を

生に時移り、肝腎の敵を取逃が

しては、千載の遺恨で御座る、

たゞてく引返す。

「目ざす敵は唯一人、無益の殺

生に時移り、肝腎の敵を取逃が

しては、千載の遺恨で御座る、

たゞてく引返す。

「タカ點眼藥」

トランホームには

「ダメ、左様で御座るか」とあわ

る、源四郎は少しも屈せず、左

の手に刀持かへ、おめき叫んで立向ふ時、奥田孫太夫・大太刀を

ぶりかぶり、肩に一刀浴せ掛けば、さすがに敵し難いと見たか

源四郎は逃出した。勘六追ふて行く中に、忽ち石に蹴駆き、薄

氷のはづて居る、池へさんぶと陥れば、源四郎取つて返し、二

刀程軽付けたが、兜頭巾の筋金に留り、幸ひ少しの疵も受けず

其の中三村次郎・左衛門、杉野十

平次駆付け、源四郎を推隔て

素早く勘六を引上げた。

暁の風はさらぬ間に肌を劈

ざく、況んや雪水の流れ入る泉

水に陥つて、すぶ濡れとなつた

勘六、凍死したかと思ひの足岸邊に達するや否や、飛鳥の如く追縋つて、源四郎が首打落とした。

次には須藤與一・右衛門、荒刀をもつて上野介の居間の中から現はれたのを、吉田澤右衛門、岡島八十右衛門遙り留めて、何の苦もなく討取つた。

堺部彌十郎・衛金丸は、原惣右衛門、間瀬久太夫、村松喜兵衛との間に、間瀬久太夫、村松喜兵衛の傍に居て、部将の任に當つたが、若者どもの動

きを見つては、血湧き腕鳴る思ひして、其處此處と彷徨内、小堺源次が抜刀引提げて逃げ来るのを、唯一突きに伏した。村松三

やいよ。愛稱の出典は多く不明なも

です。結婚三年目。

「自分の奥さんを馬と交換つ

した人が露西亞にあるんです

て、あなた、わたしを馬と交

なさる？」

「何頭とだい？」

一頭や二頭は容易に承知し

ない見えます。

細君に逃げられたさうだが、

が君、殘念でたまらないよ。さ

つき歸つて来たんでね。」

「うん。いや、有難う。ところ

が君、殘念でたまらないよ。さ

つき歸つて来たんでね。」

結婚六年目。

高岡専太郎

Dr. S. TAKAOKA

MEDICO OPERADOR

Rua Fagundes, 8—S. Paulo

警察午後三時より

泰南アグンスヌス第ニ八番

電話：セントラル二四五〇番

結婚十七年目。

「あなたが結婚記念日ぢやありませうか？」

「よく自轉車から落ちるね。」

「え？ うん。」

「あなたが結婚記念日ぢやありますな？」

「おや、今日は何かのお祭りか

りや何うも——ところで、お前

の記念日が來たら教へてお呉れ